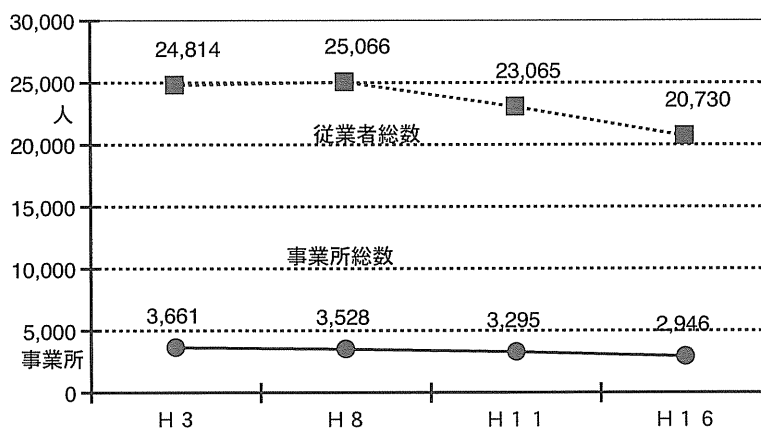


(3) 事業所・製造業・農業

①事業所総数・従業者総数の推移

能代市の事業所総数は平成3年の3,661事業所から減少しており、平成16年には、3千事業所を割り込んでいる。従業者総数は平成8年には25,066人でピークを迎えていたが、平成16年には20,730人となって、約4,300人減少している。

●事業所総数と従業者総数の推移

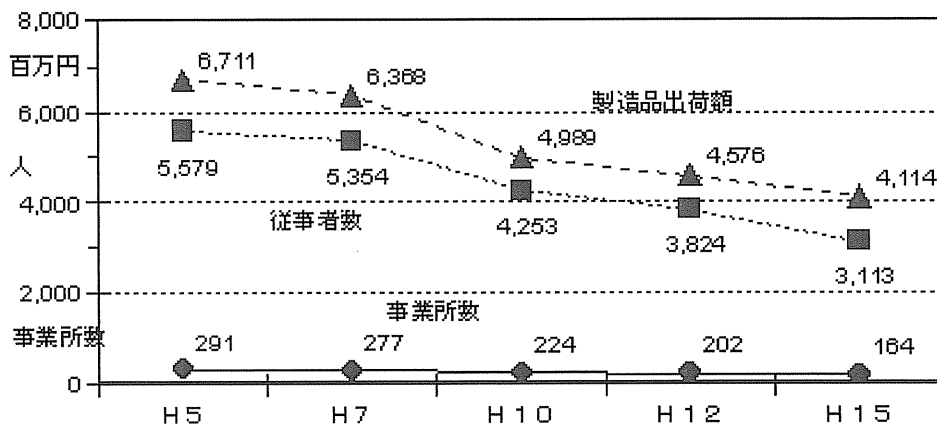


(事業所・企業統計調査)

②製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額の推移

製造業の従業者4人以上の事業所の推移では、平成5年に291事業所で、従業者数5,579人であったが、平成15年には、164事業所、3,113人まで減少している。製造品出荷額も平成5年から平成15年までの10年間で約60%まで減少している。

●製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額の推移

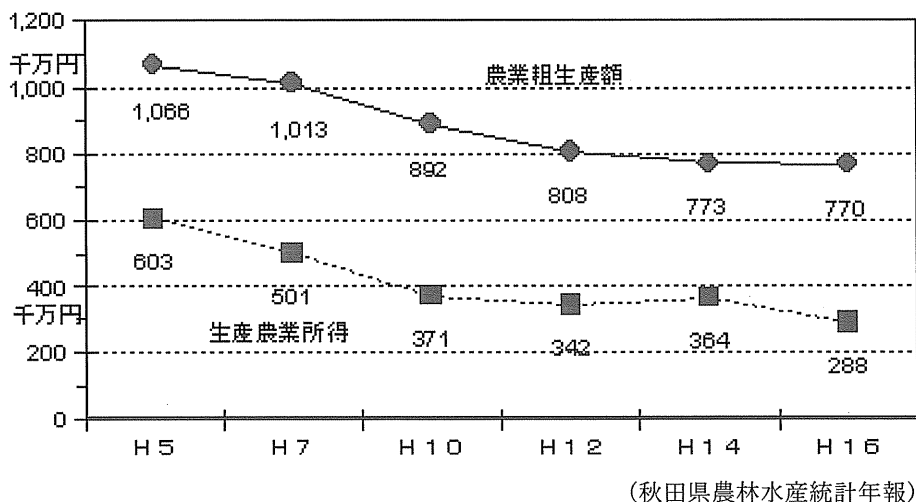


(工業統計調査)

③農業粗生産額・生産農業所得の推移

能代市の農業粗生産額や生産農業所得は米価の下落や輸入農産物等により、減少している。生産農業所得は平成5年の603千万円から平成16年には288千万円と約50%下がっている。

●農業粗生産額と生産農業所得の推移



(4) 雇用

①求職・求人状況の推移

ハローワーク能代における能代山本管内の求職・求人状況をみると、平成13年から平成17年までの求職者数は毎年2,000人を超えている。有効求人倍率はこの5年間の平均をとれば0.45倍となっている。

●求職・求人状況の推移

(単位: 人・倍)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
有効求職者数(月平均)	2,788	2,597	2,299	2,223	2,257
有効求人数(月平均)	1,044	1,078	1,112	1,224	1,065
有効求人倍率(月平均)	0.37	0.42	0.48	0.55	0.47

(ハローワーク能代)

②年代別求職・求人の現状

平成18年12月の有効求人倍率は0.43倍と秋田県平均の0.67倍を大きく下回っている。

年代別の求職・求人の平成18年12月末現在の状況では、一般・パート合わせて求職者1,952人のうち24歳までが272人、25歳から34歳までが475人で、合計すると747人になり、求職者全体の38.3%を占めている。

能代の雇用は相変わらず厳しい状況にある。

●年代別の求職者数・求人数 (平成18年12月末現在)

(単位：人)

求職者数	年代	～24	25～34	35～44	45～54	55～	合計
	一般	229	352	280	291	342	1,494
	パート	43	123	98	102	92	458
	小計	272	475	378	393	434	1,952

求人数	年代	～24	25～34	35～44	45～54	55～	合計
	一般	105	139	108	82	88	522
	パート	82	83	64	37	48	314
	小計	187	222	172	119	136	836

(ハローワーク能代)

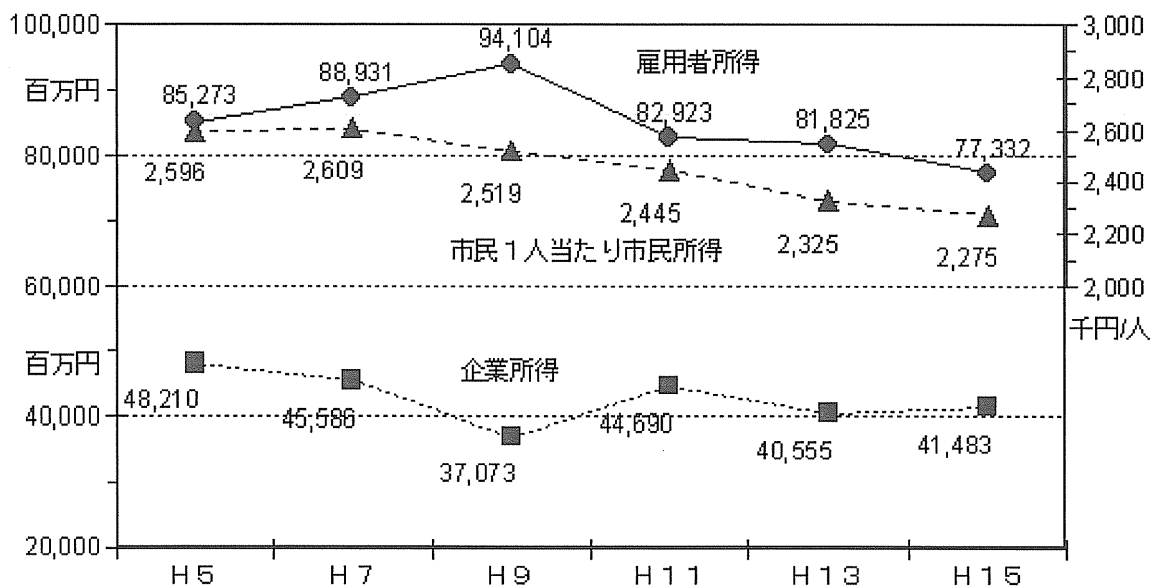
(5) 市民所得

市民1人当たりの市民所得は平成7年に2,609千円とピークに達し、その後は減少に転じ、平成15年では、ピーク時と比較して、87%まで低下している。

雇用者所得を見ると、平成9年をピークに減少している。

企業所得は平成9年に一度底を見せたが、平成11年には上昇に転じ、その後は横這い状態となっている。

●市民所得・企業所得・雇用者所得の推移



(秋田県市町村民経済計算年報)